

新型コロナウイルスで各種活動が制限される中で、地域福祉もウイルスと共生する新生活様式が求められています。

やむなく活動が休止、中止せざるを得ない中で、工夫をして活動を続けている方々や、いつ活動を再開してもいいよう準備を進めている皆さんいらっしゃいます。

そこで今号では、そのような取り組みにスポットを当て、皆さんにご紹介いたします。

1 お届け 想いを添えた衛生用品 —栃尾身体障害者福祉協会

コロナ禍で会員同士の交流する活動が中止になっているため、自分一人では外出できず、孤立しがちな会員の皆さんに衛生用品と「一緒にのりこえよう」という想いを込めたメッセージカードを送りました。



3 コロナ禍の栃尾を芸術で彩る —地域活動支援センターキッズサポートつむぎ

コロナ禍で体を動かす活動等を自粛する中、子ども達の作品作りを継続して行ってきました。その作品を今年初めて缶バッジやボストカード等のグッズ化し、地域の方々に配布をして、障害福祉の理解を深める取り組みをしています。

つむぎの
ホームページは
こちらから



4 3密対策! できる形で講演会を開催 —長岡市手をつなぐ育成会 栃尾地区

現在、定期的な茶話会は休止中ですが、6月12日に会員や住民を対象に、定員や会場の環境に配慮して、講演会を行いました。



現在、「子育ての駅とちお すぐすぐ」は昼に消毒の時間を設ける他、万全に感染症対策をして、安心して利用できる環境づくりを進めています。

すぐくは1.2歳児でも
安心して遊びやすく、利用者同士
交流しやすい環境が特徴です♪

すぐくの
開館時間等
ホームページは
こちらから



2 親子を支える地域の居場所 —NPO法人子育て広場ふっくら

【メッセージカード(表)】

会員の皆さんに
喜んでいただきました!

【メッセージカード(裏)】

すぐくは1.2歳児でも
安心して遊びやすく、利用者同士
交流しやすい環境が特徴です♪

すぐくの
開館時間等
ホームページは
こちらから



5 地域をICTで盛り上げる —入東谷地区 ほか

様々な集会の場でスマートスピーカーやタブレットを使い、TV電話やマイクを使わずにカラオケ大会、クイズ大会等をして楽しんでいます。

みなさんと
ICTの可能性を模索して、
地域の方々の見守り等に
役立てていきたいです!



6 新しい手洗い場で ウイルス予防! —芳香稚草園

赤い羽根共同募金を活用し、保育室内に新しい手洗い場を設置しました。新しくなったことで子ども達の手洗い、うがいの意識もより一層高まっています。



7 創作ダンスでサロンを活発に —金町はなの会

もともと「ハッピータイム(長岡市のご当地体操)」をしていましたが、「自分達の気に入った曲を振りつけて踊ろう」という声から、自分達で好きな曲を選び、振り付けを考えて楽しい時間を過ごしています。



8 変幻自在のキッチンカーで お弁当配達 —NPO法人UNE

普段は農業用として活躍している軽トラックにキッチン設備を取り付けて、キッチンカーとしてアオーレ長岡にお弁当を販売しています。



アオーレ長岡への
出店予定日は
UNEのホームページ
をご覧ください



9 あつたかメッセージで とちおをつなごう —長岡市社会福祉協議会 栃尾支所

コロナ禍で地域に孤立しがちな方々の不安感を少しでも解消するため、とちお“つながレター”プロジェクトを実施しています。

